

Broaden your horizons³⁶ ~さぁ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、スポーツファーマシストの講習会に参加してきました。今年、わんぱく相撲大阪市長杯の実行委員長を仰せつかり、1,350人の参加者と4,000人の親御さんが来てくださった大会を運営し、その御縁から相撲部屋の方々と

交流させていただく機会が増えました。先日は1,100人が参加する大阪府警察少年柔剣道大会に来賓としてお招きいただき、「私がここにいるのは場違いでは?」と思いつつも大阪府警の方々と交流し、青少年のスポーツ育成にかかわる機会も増えました。そんな中での、スポーツファーマシスト講習会ですから、私のテンションは否応なしにあがりました。

神戸会場での参加だったのですが、まずは参加者の多さに驚きました。本当に薬剤師の方々は勉強熱心だと改めて心強く、誇りに思いました。そして、講義を聴いていく中で、「うっかりドーピング(本人はそのつもりがなく、一般の治療薬を飲んだらそれがドーピングに引っかかってしまう)」事例を知り、これだけでも薬剤師は避けてあげなくてはいけないと思いました。

起業して私が痛感していることは、「知識は力」ということです。知っているのか、知らないのか、それだけで世の中は大違いです。薬剤師は、「薬の知識」という武器をすでに持っています。あとはこの武器をどのように使うかでしょう。

私はメディセレ生や薬学部生に講義するとき、色々な経験をするよう、視野を広げるよう、それが薬剤師の可能性を広げると話します。薬剤師は今まで無難に間違いなく仕事をしてきました。しかし、6年制になった今、薬学部が定員割れを起こし、偏差値が下がってしまいました。せっかく6年制になったのですから、薬剤師の地位を、価値をドラスティックに高めるため、薬剤師はこの薬の知識という武器を存分に使わなければいけません。そのためには、広い視野が必要なのです。薬学だけでなく、色々な分野の方々と話をすることにより、薬の知識を必要としている場面を、薬剤師が必要とされる場面を見つけ、活躍の場面を増やしていくことができます。

さぁ、視野を広げましょう! 私たちを必要としてくれている場面を探していきましょう! きっとまだまだあるはずです。私達の活躍の場面が!

9月18日に「次世代の薬剤師を創る会」 in 東京校で、皆様とお会いできることを楽しみにしております! (<http://www.medisere.co.jp/>)

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子